

第1分科会「子どもを守るためにできることは？」(加害者の立場を通して)
～わが子がいじめをしています…～

講師 鳥取県教育委員会 人権教育課社会教育担当係長 本庄 大志 氏

1 講師挨拶

いじめが行われているという内容だが、重くとらえずグループで楽しんで考えたり話し合ったりして欲しい。この研修では、参加・尊重・守備という流れで取り組んでいく。

尊重 →人によって考え方は様々。否定するのではなく受け入れながらみんなが同じように話が できるようにする。

守備→ここで聞いたことはこの場だけで収める。外には漏らさない。

2 自己紹介

アドジャン 各グループでアドジャンの流れに沿ってテーマにあった話をしていく。(アイスブレイク)

3 事例シート「この子がね～」を使って話し合いをする

- ① 我が子がいじめの加害者だったら、保護者としてどんな行動をとるか考え、付箋に書く。→グループで話し合い。
- ② 付箋をグループで分け、誰に対しての「取るべき行動」なのかを矢印で示す。
- ③ 他のグループに出向き、良いと思った「取るべき行動」にシールを貼る。
- ④ 他のグループに貼ってもらったシールも参考にしながら、今回の事例で大切にしたいものを話し合い、まとめる。
- ⑤ 各グループで話し合った内容を発表する。…夫婦間のコミュニケーション、親子間のコミュニケーション、いじめは絶対にダメ であること、今回の失敗を無駄にしないこと、加害者・被害者のアフターケア、一家族で抱え込まず相談すること等、様々な意見が発表された。

4 まとめ ・ファシリテーターのまとめ。 ・ふりかえりシートに記入

第3分科会 メディアとの付き合い方 とっとり子どもサミット 講師 社会教育課 戸板先生

避難訓練標語 おはしも 防犯標語 いかのおすし と同じくらい
SNSトラブル防止標語 とりのからあげ を知ってもらいたい

インターネットとは正しい情報だけでなく間違っただけの情報も載っている
世界中の人と繋がっている(玄関に飾れないものはあげない)
一度あげてしまうと取り消せない
(自分の手元から取り消しても誰かの手元に残ってしまう)

オンラインゲーム

メリット	無料で色々なゲームができる	様々な人とゲームができる
デメリット	マナーの悪い人もいる お金がかかるかもしれない	アカウントが乗っ取られるかもしれない 知らない人と繋がる

とりのからあげを広める方法を考えよう

*個人の意見をまとめる→グループでディスカッションする→グループの意見をまとめて発表

- | | |
|--|----------------|
| A(子ども) 缶バッチの作成 | 絵を募集してコンクールを行う |
| C 地域のケーブルテレビで放送する | PTAで番組作成 |
| D PTA活動で話し合う | 懇談会など |
| E タブレット・マチコミを活用して周知
月に一度くらい各家庭で話し合う機会をつくる | |
| F タブレットのパスワードをとりのからあげに関する難問にして覚えるようにする | |
| H シールを作成してPR | 企業とコラボ |
| G ポスターを夏休みの宿題にして全員でする
コンクールをして知事にPRしてもらう | |

スマホの使い方ルール

- ・スマホを使い過ぎない → 何時間が使いすぎ?
- ・夜遅くまで使わない → 何時からが遅い時間?
- ・個人情報をおげない → どこまでが個人情報? 住所・アドレス・写真

ルール作りのポイント

- ・具体的な数字・場所・時間を入れる
- ・ルールを守れなかった場合も決めておく
- ・ゲームを使うルール
- ・スマホを使うルール

子どもが自分で決めたルール

中学2年	時間	10:35までしか使わない	テスト期間は使わない
	場所	人の目に付かない場所では使わない	
		インスタ・ツイッター等は見ただけで自分はあげない	
		課金しない	
		約束を破ったら一回目は1週間、二回目は2週間と没収期間を延ばす	

小学4年生	場所	リビング・自分の部屋
		オンラインゲーム・課金はしない
		見守り設定のあるアカウントしか使わない

小学3年生	時間	9:00までしか使わない
	場所	トイレなどの人目に付かない所では使わない

親からわが子へ

中学生	LINEやメールは便利だけど文字列だけでは誤解が生じやすい なので人との対面・対話を大切に人間関係を築きましょう
小学2年	大きくなって色々なものが使えるようになりました 使っていく上でのルールを決めたので守りながら使しましょう
小学2・4年	ゲームはそもそも親の物 宿題・お風呂などしないといけない事をした後で使しましょう

作ったルールは子どもの成長・生活環境によって見直して変えていく

守れるルールで守っていく事が大事

ルールが守れない・ルール作りが大変なら持たせないことも大事

R4 鳥取県 PTA 役員研修(東部)アンケート結果

回答 52

1. 学校区分 **小学校40・ 中学校 11 ・ 小中一貫校、義務教育校1**
- 2 参加者 **第1(人権)27名・ 第2(PTA 活動)34名 第3(メディア)25名 サミット5名(中2名・小3名)**

3. 分科会について

(1)テーマについて **良い77% ・ だいたい良い23% ・ あまりよくない0%**

(2)本日研修した内容を各学校で活用しようと思われませんか？

是非活用したい45% ・ 今後検討したい51% ・ 活用は難しい4%

[理由]

第1(人権ワーク)

- ・加害者からのアプローチが今までなかったので、とても新鮮でした。他の人にも聞いてもらいたい。
- ・いじめといっても様々な見方があるんですね。色々な見方で考えてみたい。
- ・学校 PTA 人権研修会などで活用できると思った。
- ・利用できる研修プログラムがありそう
- ・人権は大切な問題
- ・なぜこのような事が起こったかを、子どもたちと再確認した方がよい。
- ・毎年、小学校で研修会をしている。楽しい研修で、毎回勉強になる。今後も活用していきたい。
- ・ただ聞くだけの会でなく、しっかり考えられる場であり、又、他の保護者さんの考えも聞くことができるよい機会になっている。
- ・非常に有意義な研修でした
- ・親も子もかんがえるべき内容だった。
- ・人によって深堀るする点が異なるので、同じベクトルで話しづらい
- ・グループトークで、気づきが生まれた
- ・人権問題にも色々あり、学校と協議が必要

第2(PTA 活動)

- ・新役員になって、改めて PTA 活動の必要性等を考えていたので、大変参考となるテーマだった。
- ・できる事から。
- ・役員になって今年で2年目になります。わからないことだらけだったのですが、他校の役員さんの意見がたくさん聞けて良かったです。
- ・他の学校の役員と情報交換できて、参考にしたい

第3(メディア)

- ・SNS によるトラブルに遭わない可能性がゼロではないので、インターネット、SNS を利用していく上で「とりのからあげ」は大切。子どもたちに理解してほしい。
- ・学校は先生たちの領域なので、まずは先生たちからと思う。
- ・面白く、今一度考える時間をいただきました

- ・初めて知ったことなので、上手に活用できるか不安。
- ・関心を持っていたテーマであり、自分自身も悩んでいた部分があったが、活用方法をグループワークで検討できて良かった。
- ・とても良かった。大変お世話になりました。ありがとうございました。
- ・今年度の PTA の活動目標に「メディアコントロール」を重点課題として活動しているが、具体的な内容が決まっていない。この度の研修を活かせるようにしていきたい。
- ・中学生という多感な時期にメディアとの付き合いは大切と考える。親と子双方が同じように考える事が必要。タブレット学習が始まり、子ども自身が考えて行動できる事が必要であり、学校に指導を求めるものもあるが、まずは家庭でと思う。
- ・スマホの使い方やルールを再認識することは重要であり、有効。
- ・インターネットを上手に使うことは、各家庭に必ず起こってくる問題。小さい時から勉強しておくことが大切。
- ・メディアとの付き合い方は今後の人生を左右する大きな問題であり、各家庭で解決すべき問題。
- ・役員だけで終わるともったいないし意味がない。大切な話なので、保護者間・親子で話をしたい。
- ・学校で配布できるような資料があればよい。各 PTA が今日の内容をそれぞれまとめて各学校で使うのには、参加した人の技量によるものがある。
- ・PTA 活動を地域に広げるという発想が出で来る他の PTA 役員さんに感心した。地域に広げる、地域と連携する活動を考えたい。研修テーマとは違う部分ですが、学びとなった。
- ・ひと昔前のメディア研修はインターネットは怖いだったが、付き合い方に転換した研修だった。とても良かった。
- ・メディアのルールについて 大変参考になった。次回7月の役員会で共有し、今後の PTA 活動で何らかの取り組みができたと思う。
- ・子どもたちと一緒に、とても和やかに楽しく受講できた。内容もとても分かりやすく、帰って早速活用したい。ありがとうございました。
- ・どの家庭でも、今後必ず課題となる事。少しでも役に立つ情報を知っておいてもらえたらと思う。
- ・どの家庭も気になるテーマで、いろいろな学年の親御さんの話が聞けて良かった。また、県の取り組みや当事者としての子どもの意見も聞けて有意義でした。
- ・子どものメディアとの付き合い方は保護者の関心事であるから
- ・とりのからあげを多く広めてほしい。
- ・我が子にもあてはまる内容も多く、大変参考になりました。まずは、本研修の内容を学校役員へ展開することからはじめようと思います。
- ・親子で向かい合う機会を作ること、職員研修でも取り上げたいと思う
- ・感心事項でとても参考になった
- ・子どもの気持ちや意見も知る事ができた。ルールは親がおしつけるのではなく、互いに考えて子どもと作っていききたい。
- ・‘とりのからあげ’ は、守る事で子どもたちをメディアに潜む危険から守る事ができるとおもう。

4. 今後、研修したい内容等

- ・ヤングケアラー
- ・貧困家庭の問題
- ・地域食堂
- ・時代にあったネット関連の研修
- ・食事、睡眠について
- ・いじめ不登校について
- ・各単Pがメディアについて、どのような活動をしているか
- ・男性、女性という分け方について
- ・性教育について(家庭での取り組み方を知りたい)
- ・インターネットについてももう少し詳しく聞いてみたい(犯罪に巻き込まれないための注意点、事例など)
- ・集まった方々に楽しめる雰囲気をつくること。アイスブレイクなど。
- ・保護者をPTA活動に活発に参加させるコツ等

5. 研修全体を通して

- ・施策説明では、県教育委員会の坂本先生、本庄先生から、資料をもとに電子メディア、ギャンブル依存症のこと、その対応先を教えてくださいました。また、PTA人権教育研修の進行役を無料で派遣していただけるお話もありました。当校執行部へも報告しようと思う。
- ・分科会では、第2分科会に参加しましたが、他校の役員の方とディスカッションしながら、情報交換したり、グループに分かれて議題の答えを導き出したり、最初は私も緊張していましたが、時間がたつと気負いなく、話合いでき、あっという間に会が終わっていた感じです。いろいろ勉強になりました。ありがとうございました。また、機会があれば参加したいです。
- ・みなさん真剣に取り組まれていて、素晴らしい会になった。
- ・講師、役員の皆様、お疲れ様でした。研修ありがとうございました。
- ・楽しく参加できた
- ・PTA役員が学校PTAの中で発信していくことは難しい。各学校単位でメディア研修会が開かれるとよいと思う。
- ・グループワークではパーテーションがあると活動が難しい。
- ・パーテーションがしっかりしていて、向かいの方の声が聞き取りづらかった。
- ・良い内容だった
- ・集まってたくさんの方と話す機会があるというのはやはり良いなと感じました。
 - ・最初に全体共有してから分科会に入った方がいいと思った。共通認識の方がいいから。
- ・お疲れ様でした。ご準備していただきありがとうございました。